

あたたかい子  
かしこい子  
たくましい子

学校だより

つよし

—第33号—

令和3年12月13日  
平戸市立津吉小学校  
文責 校長 田川定司

## 第2回スピーチ大会を開催しました

12月6日（月）、自分の考えを文章にまとめ全校児童の前で発表するスピーチ大会を開催しました。各学年から選ばれた代表児童が、1分程度のスピーチを堂々と発表することができました。

学年	代表者	発表題名
1年	松永 燎 山本 彪雅	1年生でがんばっていること
2年	佐々木珀竜	持久走大会
3年	小田 龍斗	消防署見学
4年	里崎 秀哉	ダンスコンクール
5年	浜本南々帆	大造じいさんとガンのアフターストーリー
6年	里崎優美花	動物虐待について



## 緑のカーテンコンクール

夏の間、平戸市内の保育施設や小中学校、福祉施設、一般家庭などで緑のカーテン（ゴーヤなどつる性植物）に取り組んだ合計108の施設や家庭の中から、設置状況の取組について審査する「緑のカーテンコンクール」において、津吉小学校が優秀賞に選ばれ、このほど表彰を受けました。

## 転入生紹介

12月7日（火）から津吉小学校に転入生が入りました。丸尾健太郎くん（3年）です。地区は神船地区です。みんなと早く仲良くなってほしいと思います。津吉小学校のみんなの「あたたかい子」の姿を見せてください。

## 季節は最高の教材

朝の寒さが冬の訪れを感じる季節となりました。校庭のイチョウやモミジも落ち葉となって降り積もっています。先日は、2年生の子供たちが収穫したお芋を焼き芋にして食べたり、また来週には秋に収穫したお米でおにぎり給食を開催したりする予定です。人は常に自然と共に生き、自然のありがたさを感じながら命をいただいて生きています。生きていく上で季節の変化を感じることは必要なことです。

季節の変化は、貴重な学びの教材です。鳥や虫の鳴き声、旬の食べ物の味、年中行事や行事食など四季を感じるとき、人は五感を大いに働かせ、情感豊かな心＝情操が育成されます。しかし、時間に追われて生活する現代社会では、季節感を楽しむことから遠ざかることも多いようです。衣食住が快適で便利になった一方、野菜や果物、魚の「旬」が見えにくくなっています。

季節感は、経験なしでは感じられません。学校生活では多くの季節感を体験できる活動を取り入れています。ぜひ御家庭でも、季節を大いに楽しんでください。「知っている」「やったことがある」という経験や自信は、自己肯定感を育みます。



【2年生の焼き芋の様子】